

PROLOGIS

Magazine

竣工
特別号

2021

最新鋭物流プラットフォーム

プロロジスパーク猪名川

ついに完成

ともに新時代へ挑む 「まちづくり」の 新しいカタチ。



「物流」「まち」「暮らし」をつなぐ、最新鋭の物流プラットフォームが、
2021年11月ついに完成。

「物流」

日本最大級の省人化・自動化物流集積拠点

効率的な物流ソリューションの提供により、物流企業の活性化・持続化、ニューマーケットの開拓を実現

「まち」

地域と連携したまちづくり

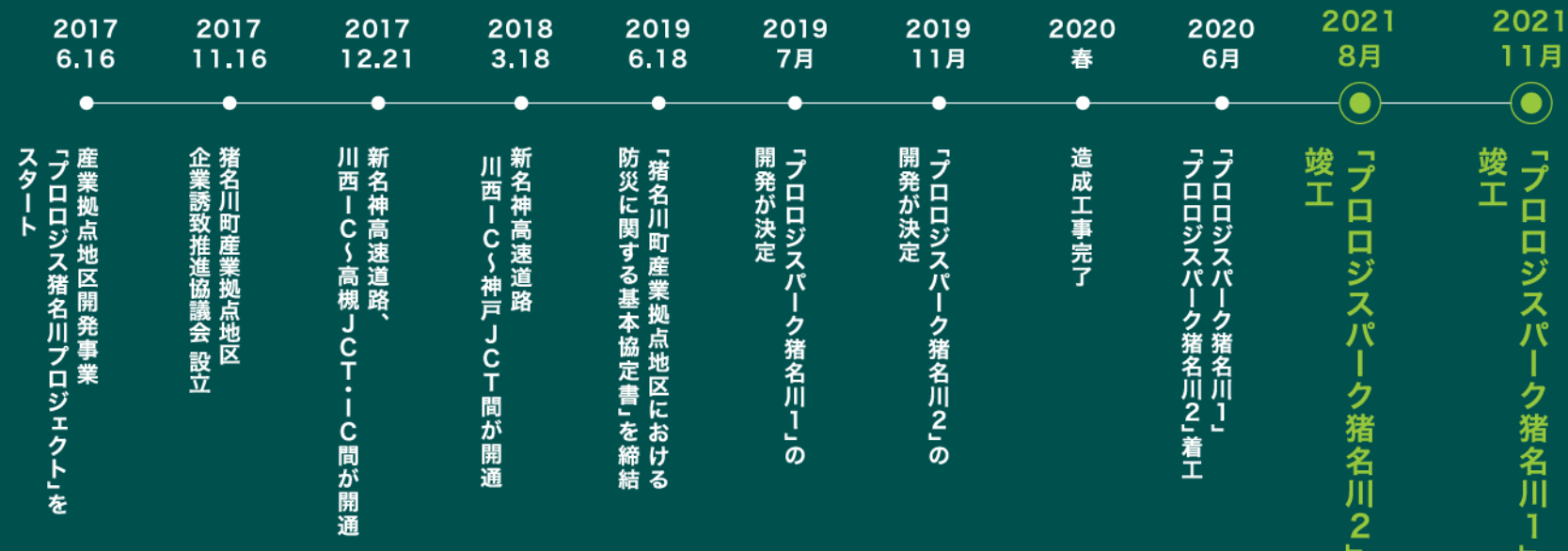
官民一体で防災設備を完備した災害に強いまちづくりを実現し、環境に配慮した先進性のあるコミュニティを形成

「暮らし」

働きたくなる場所を創出

雇用機会を創出し、持続可能な経済活動を支援。職住近接の、働く人に理想的なワークプレイスを提供

【竣工までの歩み】



プロロジスパーク猪名川1

プロロジス最大級の施設規模。
免震構造を採用した6階建てのマルチテナント型施設。
最大約9,000坪のワンフロアオペレーションが可能。(中央車路)



倉庫車路 / プロロジスパーク猪名川1

敷地面積	107,172.74㎡ (32,419.60坪)	着工	2020年6月
延床面積	218,179.42㎡ (65,998.97坪)	竣工	2021年11月
構造	6階建て(免震構造) 柱RC・梁S造		

プロロジスパーク猪名川2

5階建てのマルチテナント型施設(耐震構造)。
片面車路で最大約8,000坪の広さを確保。
奥行きが深く効率的なワンフロアオペレーションが可能。



エントランスホール / プロロジスパーク猪名川2

敷地面積	85,380.88㎡ (25,827.71坪)	着工	2020年6月
延床面積	158,644.29㎡ (47,989.89坪)	竣工	2021年8月
構造	5階建て 柱・梁S造		

「プロロジスパーク猪名川1」は、当社最大のマルチテナント型物流施設、また100棟目の開発案件として竣工しました。「プロロジス猪名川プロジェクト」は2015年より猪名川町のご協力のもと進めてきたプロジェクトであり、先に完成した「プロロジスパーク猪名川2」と合わせて延床面積約38万㎡の新たな物流ハブが猪名川の地に誕生しました。敷地内には非常用発電燃料として地下オイルタンクを設置しているほか、施設全体に人感センサーLEDを採用しました。また、自家消費を想定した太陽光発電や電気自動車充電設備の設置を予定するなど、環境負荷軽減や事業サステナビリティにも配慮し、従前の施設計画をさらに一歩進めた新たな取り組みを採用しています。さらに、民間バス会社と連携しバス路線の乗り入れも開始しています。両施設が入居企業様および猪名川町の益々の発展につながることを祈念するとともに、関係各社のこれまでのご尽力に心より感謝申し上げます。

プロロジス 代表取締役社長 山田御酒



この度は、プロロジスパーク猪名川1、2の竣工、誠にありがとうございます。また、プロロジスにとって、国内で100棟目という記念すべき施設ということで心よりお祝いを申し上げますとともに、その施設が猪名川町肝川・差組地区に開発され、稼働がすることとなり嬉しく存じます。これまでプロロジスとは、まちづくりの一環として地域とともに発展する施設を目指し、官民一体で取り組んでまいりました。すでに200名以上の雇用が創出されており、施設付近には消防・防災広場が整備され、また、「産業拠点地区における防災に関する基本協定」を締結しており、大規模災害時には入居企業と連携し、災害に対応していくなど町にとって非常に大きな役割を担う施設となっております。今後もグローバルに活躍されるプロロジスとともに、この猪名川町から世界へ発信できるよう目指してまいります。

猪名川町 町長 岡本信司様



DELIVERING VALUE BEYOND THE BUILDING

プロロジスパーク猪名川は、プロロジスと猪名川町、地域社会が官民一体で新しい時代が求める「まち」を創造するという大いなる挑戦です。私たちの挑戦は次のステージへ。ここ猪名川町で、物流施設を超えた新たな価値を創出していきます。

雇用創出

- ・職住近接
- ・雇用機会の創出
- ・地域経済の活性化
- ・新規産業導入の創出



プロロジスパーク猪名川の敷地内に阪急バスのバス停が設置され、通勤しやすさが格段に向上します。まちのにぎわいを表現したラッピングバスも走行予定です。



プロロジスパーク猪名川1



プロロジスパーク猪名川2

仕事の合間にくつろげるカフェテリア・休憩スペースは2棟合計で500席超とゆとりある設計。施設内で働く方々が快適に過ごせる空間を提供します。

物流インフラ

- ・ニューマーケットの創出
- ・西日本最大級の物流ハブ
- ・自動化物流集積拠点



新名神高速道「川西IC」より約2km。新名神高速を軸とした高速網を利用し、西日本全域をカバーする新たな物流ハブとなる戦略拠点です。大阪市内までは阪神高速を利用するルートもあり、交通事情に合わせて複数のルートが選択可能です。

防災力強化

- ・災害を想定した訓練
- ・官民連携
- ・救急物資の保管
- ・応援活動拠点の提供
- ・防災広場の設置



2019年に「猪名川町産業拠点地区における防災に関する基本協定書」を締結。敷地内に防災広場を整備しました。物流拠点と防災広場を活用し、官民一体となって安全・安心のまちづくりを推進することを目的に本協定書を締結しました。

プロロジスパーク猪名川

物流・まち・暮らしをつなぐ
新しいカタチが猪名川で
はじまります。

サステナビリティ

- ・森林保全
- ・既存植生の維持
- ・建物の長寿命化
- ・再生エネルギーの活用
- ・環境負荷軽減を考慮した設備



猪名川町
マスコットキャラクター
いなぼう
©猪名川町2009

交流の場づくり

- ・公園の整備
- ・レクリエーション利用
- ・教育活動への協力
- ・地域のランドマーク
- ・共有スペースの開放

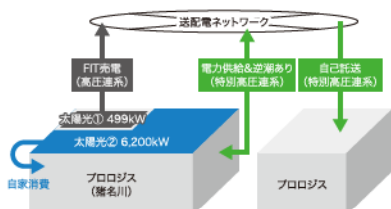


敷地内に整備した公園は地域の皆様に開放し、日々の憩いの場や健康増進の場としてご利用いただくことを想定しています。

プロロジスパーク猪名川で実現する新たな取り組み

ソーラー発電で生み出した電気を自家消費

2棟合わせて6MWの太陽光発電設備を設置予定。発電した電力は自家消費、自己託送する計画です。



非常時の発電機燃料

プロロジスとして初めて非常時の発電機燃料として地下に大型オイルタンクを備えています。施設内に最大約14日分の電力供給が可能となります。



トラック受付システムの導入 (プロロジスパーク猪名川2)

トラック受付システム「MOVO Berth」を施設に標準装備し、敷地共有部にトラックの受付・待機スペースを設けます。



免震構造 (プロロジスパーク猪名川1)

プロロジスパーク猪名川1では免震構造を採用。地震で発生する衝撃を吸収することで人的・物的影響を軽減します。



お問い合わせ先: プロロジス 開発部 TEL: 03-6860-9090 Email: pldnews@prologis.co.jp